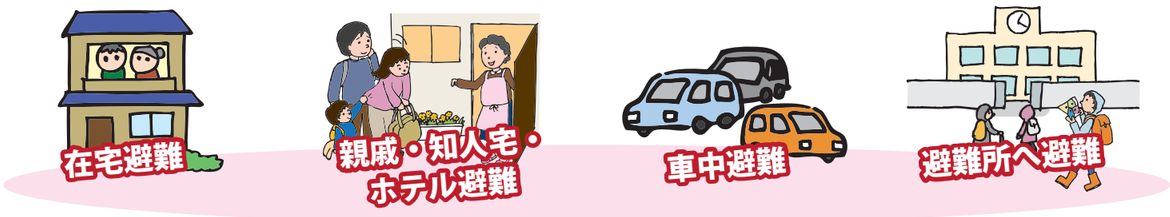
日頃から確認『どこ？』

地域の **どこが危険** なのか、**どこへ避難** すれば良いのか、
市町村で公表しているハザードマップや
木曽三川の洪水氾濫を想定した浸水想定区域図で
確認しておきましょう。

指定緊急避難場や指定避難所へ行くことだけが避難ではありません。（分散避難）

◆「難を避けること＝避難」ができれば、避難先はどこでもかまいません。
◆ 感染症対策等で３密を避けるためにも、**避難先が確保できる人はその場所に避難**してください。



日頃から確認『いつ？』

余裕をもって安全に避難するために、いざというとき、**いつ・何をするか**、
自分や家族の行動を考えておきましょう。

日頃からの備え　非常持出品・備蓄品の準備

避難生活で困らないよう、自分や家族にとって必要なものを
あらかじめ準備しておきましょう。

必要なものは人によって違います

■ いざというときは、声を掛け合いながら、
早めの避難を行いましょう。

■ いざというときのために、
日頃から、家族や地域の人たちと
話し合っておきましょう。

発行：木曽川下流水防災協議会
（海津市、愛西市、津島市、弥富市、蟹江町、飛島村、桑名市、木曽岬町、岐阜県 西濃県事務所、岐阜県 大垣土木事務所、愛知県 海部県民事務所、愛知県 海部建設事務所、三重県 桑名地域防災総合事務所、三重県 桑名建設事務所、（独）水資源機構 中部支社、岐阜地方気象台、名古屋地方気象台、津地方気象台、中部地方整備局 木曽川上流河川事務所、中部地方整備局 木曽川下流河川事務所

大規模水害による犠牲者ゼロを目指して…

頻発する風水害

気候変動により、水害が頻発し、被害も激甚化しています。
そして、水害で犠牲になる方の多くが高齢者です。

令和２年７月豪雨

死者 80 名のうち、65 歳以上が 63 名 ※1

79%

令和元年東日本台風

死者 84 名のうち、65 歳以上が 55 名 ※1

65%

平成 30 年西日本豪雨
（岡山県倉敷市真備町）

死者 51 名のうち、65 歳以上が 45 名 ※2

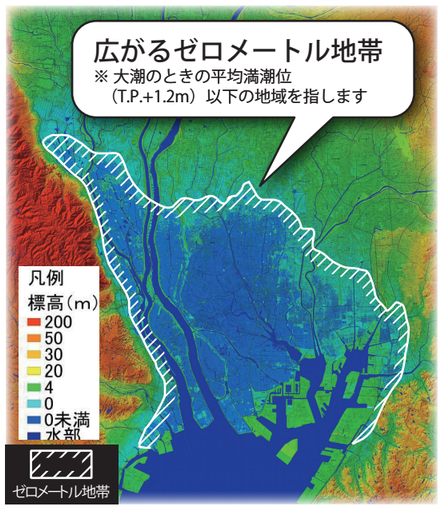
88%

※1　令和元年台風第 19 号等を踏まえた高齢者等の避難のあり方について（最終とりまとめ）　参考資料を参照
※2　岡山県「平成 30 年７月豪雨」災害検証委員会：平成 30 年７月豪雨災害検証報告書（2019.3）を参照

木曽三川下流部でも大規模水害が発生するかもしれません

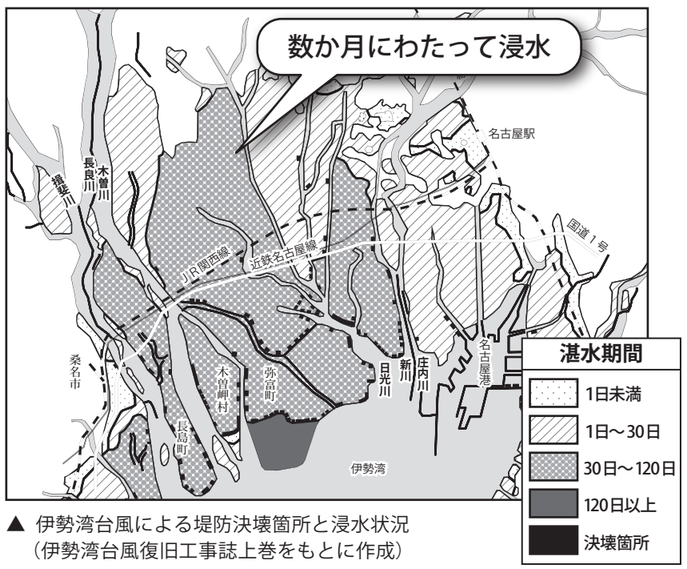
ゼロメートル地帯で大規模水害が発生したら、
広く、深く、長く浸水する 可能性があります。

＜濃尾平野の地形図＞



▲ 出典：デジタル標高地形図
「中部」濃尾平野周辺をもとに作成

＜昭和 34 年 伊勢湾台風の浸水実績＞



▲ 伊勢湾台風による堤防決壊箇所と浸水状況
（伊勢湾台風復旧工事誌上巻をもとに作成）

大規模水害時の留意点と取るべき行動を確認　中面へ

■ 木曽三川下流部で大規模水害が発生すると、

あなたの住まいや地域に **居続けることはできません**

■ あなたと大切な人を守るために、浸水の危険がない

より安全な場所へ避難 してください

1 大規模水害時は、

早い段階で浸水の危険がない安全な場所へ、避難しましょう

2 浸水の危険がない場所まで移動できない場合は、

その時できる、身を守るための最善の行動をとってください

※ただし、一時的でも身を守れる場所かどうか、事前に確認しておいてください

■ 高齢者など避難に時間を要する方は、

おそくとも **警戒レベル3** で避難を開始してください

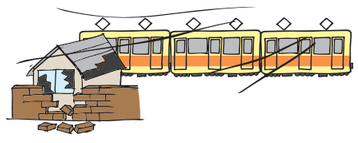
警戒レベル	状況	とるべき行動	行動を促す情報
5	災害が発生又は切迫	◎命の危険、直ちに安全確保！	緊急安全確保※
＜警戒レベル４までに必ず避難！＞			
4	災害のおそれ高い	◎危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	◎危険な場所から高齢者等は避難（他の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせたり自主的に避難を始める）	高齢者等避難
2	気象状況悪化	・自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
1	今後気象状況悪化のおそれ	・災害への心構えを高める	早期注意情報（気象庁）

※災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル５は必ず発令されるものではありません。

巨大台風の接近が想定されるときは、早めの避難を心がけましょう

風や雨が強まると…

電車・バスのダイヤが運行停止
徒歩や車での移動も困難



一斉に避難すると…

大渋滞が発生

道路冠水に注意

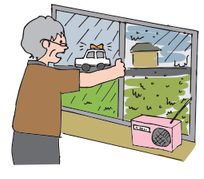
台風の接近や交通機関の運休、渋滞等で身動きがとれなくなる前に、木曽三川下流部広域避難実現プロジェクトから、「自主的広域避難情報（広域避難の呼びかけ）」を発表します。

■ 避難情報や防災情報、周りの状況などから、避難を判断してください

テレビで確認

テレビのリモコンのdボタンを押すと気象情報や防災情報を確認することができます。

（テレビ画面イメージ図）

ラジオで確認

【AMラジオ】
ＮＨＫ第一
729kHz